

平成 25 年度 全国学力・学習状況調査等を活用した学力向上に向けた事例

事務所名	宮古	学校名	岩泉町立岩泉中学校	TEL	0194-22-2154
------	----	-----	-----------	-----	--------------

授業と家庭学習のサイクル化の取組

1 ねらい

授業と家庭学習のサイクル化をはかり、「確かな学力」の育成を図る。

2 具体的な実践

(1) 授業と家庭学習のサイクル化

① 家庭学習を授業に生かす 5 つのねらい

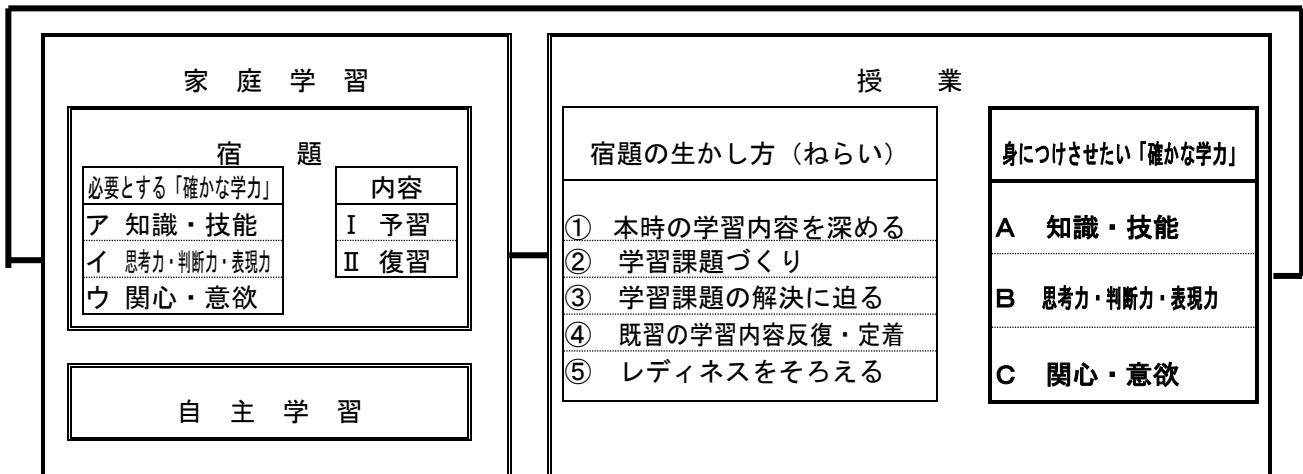
本時の授業で何を身に付けさせたいか、そのためにどのような家庭学習を課し、どのようなねらいを持って授業に生かすのか（サイクル化を図るのか）、私たちはこの点に着目し、授業における家庭学習の生かし方、ねらいについて、以下の 5 点にまとめた。

- ア 本時の学習内容を深める
- イ 学習課題づくり
- ウ 学習課題の解決に迫る
- エ 既習の学習内容反復・定着
- オ レディネスをそろえる

従来の家庭学習は、左記エに偏る傾向があった。しかし、そのみでは、知識・技能の定着にはつながるが、「確かな学力」の三要素をバランスよく育成することはできない。単元を通し、知識・技能の定着とともに、思考力・判断力・表現力の醸成、関心・意欲の喚起の三点をバランスよく行うとともに、家庭学習を授業にどのように生かしていくか、左記 5 つのねらいを明確に位置づけ、質の高い「授業と家庭学習のサイクル化」を図ることとした。

② 授業と家庭学習の具体的なサイクル

授業と家庭学習のサイクルを具体的に構想する際、下図をもとに授業を構想した。



(2) 校内研究会による職員の共通理解

授業研究会を通して 3 つの観点【授業と家庭学習のサイクル化】、【宿題の内容】、【宿題を生かした授業】で協議を行い、「確かな学力」を身に付けさせるための家庭学習の在り方について協議を深めている。

また、校内研究会において職員全員で全国学力・学習状況調査の B 問題を解き、【現代の児童生徒に求められている力】、【本校ではどんな取組が考えられるか】という視点で協議を行い、特に思考力・判断力・表現力を身に付けさせるための手立てについて職員の共通理解を図り、学校として取り組めること、各教科において取り組めることを意識しながら、授業改善を図れるよう努めている。



B 問題についてのワークショップ

3 成果

- (1) 生徒自身が、取り組んだ家庭学習が授業に生かされていると実感できるようになったこと。
- (2) 「確かな学力」を構成する要素のいずれかを本時で身に付けさせたい力として位置づけることにより、ねらいを明確にした授業が構想できるようになったこと。

<担当指導主事から>

【宮古教育事務所 主任指導主事 千葉龍太郎】

家庭学習方法の工夫だけではなく、授業そのものを改善することに重点をおいて具体化しているところに価値がある。県の課題とされている B 問題に対して具体的に対策を立てて取り組んでいる点が評価できる。